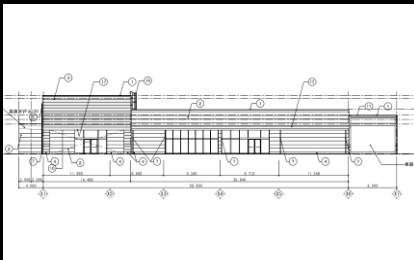


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ベルク平塚田村店 新築工事	階数	地上1F
建設地	神奈川県平塚市田村6丁目1444-2の一部	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	125人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年12月10日
敷地面積	8,477 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ディーエス設計
建築面積	3,343 m <sup>2</sup>	確認日	2025年12月10日
延床面積	2,941 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社ディーエス設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 2.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 平塚市に計画された地上1階建て、S造の食品スーパー。 高効率設備や節水器具を採用することでライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の削減に務めた。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 化学汚染物質対策として、主要な内装材及び取付接着剤は全てF☆☆☆☆を採用し、館内は禁煙とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 主要な内装材や、給排水配管は更新間隔の長いものを採用することで、耐用性を向上させた。 天井高や階高はゆとりのある高さとし、快適性や更新性を高めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内を積極的に緑化するとともに、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている外観とすることで良好な景観を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率の設備を採用することで運用時の消費エネルギー削減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護として自動水栓や節水型便器を採用。 躯体と仕上げ材が容易に分別できるような下地構造はLGSとし、部材の再利用可能性向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 大気汚染防止として、ヒートポンプ型の給湯器を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される